



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社
コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井波 洋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671
定時株主総会開催予定日 2025年6月13日 配当支払開始予定日 2025年6月16日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月12日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	22,131	△0.8	2,006	7.9	1,589	17.0	1,150	12.3
2024年3月期	22,313	4.7	1,859	33.6	1,358	36.1	1,024	51.5

(注) 包括利益 2025年3月期 972百万円 (△42.9%) 2024年3月期 1,702百万円 (174.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	143.57	—	4.9	1.8	9.1
2024年3月期	127.46	—	4.6	1.5	8.3

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 1百万円 2024年3月期 △4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	90,680	23,539	26.0	2,975.00
2024年3月期	90,451	22,942	25.4	2,855.47

(参考) 自己資本 2025年3月期 23,539百万円 2024年3月期 22,942百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	2,964	△2,015	△1,356	1,052
2024年3月期	3,780	△1,319	△2,437	1,460

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	80	7.8	0.4
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	158	13.9	0.7
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		14.3	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,770	2.9	2,230	11.2	1,590	0.1	1,110	△3.5	140.29

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	8,061,566株	2024年3月期	8,061,566株
2025年3月期	149,148株	2024年3月期	26,871株
2025年3月期	8,015,377株	2024年3月期	8,035,281株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	12,111	△4.8	1,588	7.7	1,182	15.2	887	6.7
2024年3月期	12,718	5.0	1,475	35.4	1,026	22.3	831	32.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	110.66	—
2024年3月期	103.44	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	88,482	21,972	24.8	2,777.01
2024年3月期	87,700	21,463	24.5	2,671.35

(参考) 自己資本 2025年3月期 21,972百万円 2024年3月期 21,463百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気が緩やかに拡大しているものの、円安傾向や不安定な国際情勢によりエネルギー価格及び原材料価格が高止まりする状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当連結会計年度の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は22,131百万円となり前連結会計年度に比べ182百万円（0.8%）減少、営業利益は2,006百万円となり前連結会計年度に比べ147百万円（7.9%）増加、経常利益は1,589百万円となり前連結会計年度に比べ231百万円（17.0%）増加、親会社株主に帰属する当期純利益は1,150百万円となり前連結会計年度に比べ126百万円（12.3%）増加しました。

当連結会計年度のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、国や自治体の補助制度を活用しながら、軌道の強化、法面の防災等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、駅を中心とした賑わいづくりの一環として、有馬温泉駅のリニューアル工事を進めておりましたが、2025年2月に完成しました。

営業活動については、有馬温泉への旅客誘致を図るため、「有馬グルメ&湯けむりチケット」等の企画乗車券を発売したほか、沿線自治体や各種団体と連携した企画ハイキングを開催し、多数のお客様にご参加いただきました。また、1973年のデビュー以来「ウルトラマン電車」と呼ばれ親しまれてきた3000系車両と「ウルトラマン」とのコラボによる「神戸電鉄ウルトラプロジェクト」を開始し、2025年3月にスタンプラリーの開催や特別仕様の車両の運行等を実施しました。

また、神戸電鉄栗生線活性化協議会と連携し、アーティストと沿線の子どもたちが一緒に広告看板に描いた絵画を駅に掲出する「駅ナカ看板アートイベント」を木幡駅、志染駅、小野駅の3駅で実施しました。神戸市との連携事業である「神鉄沿線モヨウガエ」及び「KOBE Rail&Trail」では、地域との交流を通じた駅周辺の活性化や当社沿線の魅力発信に努めました。引き続き地域の皆様や沿線自治体と連携したプロジェクトを推進しながら鉄道の利用促進に取り組んでまいります。

なお、今後も公共交通機関としての社会的使命を果たし、安全・安心・快適な輸送サービスを継続して提供するために、鉄道事業において29年ぶりとなる運賃改定（消費税率変更によるもの及び鉄道駅バリアフリー料金を除く）を2025年1月に実施しました。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務をはじめ積極的な営業活動を展開し増収に努めるとともに、2024年10月より路線バスの運賃改定を実施しました。

タクシー業においては、配車アプリの活用や乗務員の採用に注力するなど、収益の拡大に努めました。

これらの結果、当連結会計年度の運輸業の営業収益は13,040百万円となり、前連結会計年度に比べ470百万円（3.5%）減少し、営業利益は918百万円となり、前連結会計年度に比べ52百万円（6.0%）増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、収益の拡大を図るため当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進めるとともに、2025年1月に新規物件（東京都大田区）を取得しました。

また、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場（神戸市中央区）」他5施設について、円滑な運営に努めました。

これらの結果、当連結会計年度の不動産業の営業収益は1,967百万円となり、前連結会計年度に比べ22百万円（1.1%）減少し、営業利益は910百万円となり、前連結会計年度に比べ74百万円（8.9%）増加しました。

流通業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するとともに、大創業祭やご当地フェア等の集客策を実施するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、移動スーパー「とくし丸」については、現在1号車から4号車まで運行し、ご好評をいただいていることから、2025年3月から新たに5号車の運行を開始し、引き続き顧客開拓を精力的に行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業及び飲食業においては、各店舗で販売促進策を実施するなど増収に努めました。

これらの結果、当連結会計年度の流通業の営業収益は5,347百万円となり、前連結会計年度に比べ173百万円(3.3%)増加し、営業利益は103百万円となり、前連結会計年度に比べ28百万円(37.3%)増加しました。

その他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。

建設業においては、沿線における防災工事等を施工するなど、受注拡大に努めました。

引き続き、当社沿線のお客様のニーズに応じたサービスの充実に努めてまいります。

これらの結果、当連結会計年度のその他の営業収益は3,212百万円となり、前連結会計年度に比べ246百万円(8.3%)増加し、営業利益は59百万円となり、前連結会計年度に比べ4百万円(7.3%)増加しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ229百万円増加の90,680百万円となりました。

当連結会計年度末の負債は、借入金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ367百万円減少の67,141百万円となりました。

当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ596百万円増加の23,539百万円となり、自己資本比率は26.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は、2,964百万円と前連結会計年度に比べ816百万円の減少となりました。これは、仕入債務の増減額が減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は、2,015百万円と前連結会計年度に比べ696百万円の増加となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は、1,356百万円と前連結会計年度に比べ1,081百万円の減少となりました。これは、借入金の返済による支出が減少したこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

当社グループでは、2023年5月に長期経営ビジョン「神鉄グループみらいビジョン2030」を策定し、本ビジョンの達成に向けて、前半4か年の具体的な実行計画として策定した「中期経営計画2026」を推進しているところであり、2024年度(計画年度2か年目)は順調に推移いたしました。

次期の業績予想につきましては、運輸業は鉄道事業においては2025年1月に実施しました運賃改定の寄与により増収・増益を見込んでおります。不動産事業及び流通業においては、増収を見込んでいるものの、原材料などをはじめとする価格の更なる上昇に加えて、人件費等の増加により減益となる見込みであり、営業収益22,770百万円、営業利益2,230百万円、経常利益1,590百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,110百万円を予想しております。

また、「中期経営計画2026」の最終計画年度となる2026年度の目標数値につきましても、利益目標を上方修正し、その達成に向けた取組を推進するなど、引き続きグループの持続的成長と企業価値の向上に努めてまいります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,468	1,054
売掛金	1,333	1,586
短期貸付金	87	21
販売土地及び建物	230	230
商品	110	120
貯蔵品	447	479
その他	1,621	1,671
流動資産合計	5,299	5,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,807	39,114
機械装置及び運搬具（純額）	4,832	4,845
土地	35,019	35,485
建設仮勘定	106	404
その他（純額）	498	489
有形固定資産合計	80,264	80,340
無形固定資産		
その他	688	806
無形固定資産合計	688	806
投資その他の資産		
投資有価証券	1,579	1,824
長期貸付金	195	173
退職給付に係る資産	2,030	1,937
その他	409	452
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,197	4,370
固定資産合計	85,151	85,516
資産合計	90,451	90,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,446	2,963
短期借入金	17,803	21,847
未払法人税等	174	385
前受金	794	290
賞与引当金	53	51
その他	2,953	2,784
流動負債合計	24,226	28,323
固定負債		
長期借入金	37,079	32,588
繰延税金負債	593	627
再評価に係る繰延税金負債	3,461	3,559
退職給付に係る負債	105	95
長期末払金	539	549
長期預り保証金	927	908
その他	575	488
固定負債合計	43,282	38,817
負債合計	67,508	67,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	8,697	9,768
自己株式	△95	△391
株主資本合計	20,313	21,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642	739
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,480	1,382
退職給付に係る調整累計額	506	330
その他の包括利益累計額合計	2,629	2,451
純資産合計	22,942	23,539
負債純資産合計	90,451	90,680

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業収益	22,313	22,131
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	17,833	17,509
販売費及び一般管理費	2,621	2,615
営業費合計	20,454	20,124
営業利益	1,859	2,006
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	34	38
有価証券売却益	15	38
受託工事事務費戻入	16	38
物品売却益	10	52
雑収入	67	59
営業外収益合計	145	229
営業外費用		
支払利息	568	606
雑支出	78	39
営業外費用合計	646	645
経常利益	1,358	1,589
特別利益		
固定資産交換差益	—	425
工事負担金等受入額	556	863
特別利益合計	556	1,288
特別損失		
工事負担金等圧縮額	556	1,288
その他	23	—
特別損失合計	580	1,288
税金等調整前当期純利益	1,334	1,589
法人税、住民税及び事業税	182	378
法人税等調整額	127	60
法人税等合計	310	439
当期純利益	1,024	1,150
親会社株主に帰属する当期純利益	1,024	1,150

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,024	1,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309	96
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	369	△176
土地再評価差額金	—	△98
その他の包括利益合計	678	△177
包括利益	1,702	972
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,702	972
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,710	7,650	△91	19,270
当期変動額				
剰余金の配当		—		—
親会社株主に帰属する当期純利益		1,024		1,024
自己株式の取得			△3	△3
土地再評価差額金の取崩		22		22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	1,047	△3	1,043
当期末残高	11,710	8,697	△95	20,313

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	333	0	1,503	136	1,973	21,243
当期変動額						
剰余金の配当						—
親会社株主に帰属する当期純利益						1,024
自己株式の取得						△3
土地再評価差額金の取崩						22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	309	△0	△22	369	655	655
当期変動額合計	309	△0	△22	369	655	1,699
当期末残高	642	0	1,480	506	2,629	22,942

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,710	8,697	△95	20,313
当期変動額				
剰余金の配当		△80		△80
親会社株主に帰属する当期純利益		1,150		1,150
自己株式の取得			△295	△295
土地再評価差額金の取崩		△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	－	1,070	△295	774
当期末残高	11,710	9,768	△391	21,087

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	642	0	1,480	506	2,629	22,942
当期変動額						
剰余金の配当						△80
親会社株主に帰属する当期純利益						1,150
自己株式の取得						△295
土地再評価差額金の取崩						△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	96	△0	△98	△176	△177	△177
当期変動額合計	96	△0	△98	△176	△177	596
当期末残高	739	△0	1,382	330	2,451	23,539

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,334	1,589
減価償却費	2,282	2,208
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△99	△164
受取利息及び受取配当金	△35	△40
支払利息	568	606
有価証券売却損益 (△は益)	△15	△38
固定資産交換差益 (△は益)	—	△425
工事負担金等受入額	△556	△863
工事負担金等圧縮額	556	1,288
売上債権の増減額 (△は増加)	△236	△252
棚卸資産の増減額 (△は増加)	37	△40
仕入債務の増減額 (△は減少)	155	△20
その他	456	△148
小計	4,447	3,699
利息及び配当金の受取額	35	39
利息の支払額	△563	△606
法人税等の支払額	△139	△167
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,780	2,964
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,854	△2,609
投資有価証券の取得による支出	△300	△201
投資有価証券の売却及び償還による収入	327	138
貸付けによる支出	△16	△1
貸付金の回収による収入	85	88
工事負担金等受入による収入	772	578
その他	△333	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,319	△2,015
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△326	1,083
長期借入れによる収入	6,450	6,550
長期借入金の返済による支出	△8,390	△8,079
自己株式の取得による支出	△3	△295
配当金の支払額	—	△80
リース債務の返済による支出	△167	△533
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,437	△1,356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23	△407
現金及び現金同等物の期首残高	1,436	1,460
現金及び現金同等物の期末残高	1,460	1,052

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、コア事業である運輸業、不動産業及び流通業を中心に地域社会に根ざした事業の展開を進めております。

当社グループは、上記3つの事業グループのセグメントから構成されており、「運輸業」、「不動産業」及び「流通業」の3つを報告セグメントとしております。

「運輸業」は、鉄道事業、バス事業及びタクシー業の3つの事業で構成されております。「不動産業」は、土地建物販売業及び土地建物賃貸業の2つの事業で構成されております。「流通業」は、主に食品スーパー業及びコンビニ業で構成されております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2024年6月14日提出)の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	13,492	1,807	5,162	20,462	1,851	22,313	—	22,313
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	17	181	11	211	1,115	1,327	△1,327	—
計	13,510	1,989	5,174	20,674	2,966	23,640	△1,327	22,313
セグメント利益	866	836	75	1,777	55	1,832	26	1,859
セグメント資産	68,472	15,365	706	84,544	2,019	86,563	3,887	90,451
減価償却費	1,965	202	56	2,224	85	2,310	△27	2,282
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,694	363	29	2,087	42	2,130	△1	2,128

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	13,022	1,782	5,336	20,141	1,989	22,131	—	22,131
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	17	184	11	214	1,222	1,436	△1,436	—
計	13,040	1,967	5,347	20,355	3,212	23,568	△1,436	22,131
セグメント利益	918	910	103	1,932	59	1,992	14	2,006
セグメント資産	68,205	15,904	708	84,818	2,075	86,894	3,785	90,680
減価償却費	1,934	170	45	2,150	85	2,236	△27	2,208
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,632	2,804	40	5,477	207	5,684	△11	5,673

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

営業収益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,674	20,355
「その他」の区分の営業収益	2,966	3,212
セグメント間取引消去	△1,327	△1,436
連結財務諸表の営業収益	22,313	22,131

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,777	1,932
「その他」の区分の利益	55	59
セグメント間取引消去	26	14
連結財務諸表の営業利益	1,859	2,006

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	84,544	84,818
「その他」の区分の資産	2,019	2,075
全社資産（注）	3,887	3,785
連結財務諸表の資産合計	90,451	90,680

(注) 全社資産は、主に提出会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	2,224	2,150	85	85	△27	△27	2,282	2,208
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,087	5,477	42	207	△1	△11	2,128	5,673

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
1株当たり純資産額	2,855円47銭	2,975円00銭
1株当たり当期純利益	127円46銭	143円57銭

（注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 （百万円）	1,024	1,150
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	1,024	1,150
普通株式の期中平均株式数（千株）	8,035	8,015

（重要な後発事象）

該当事項はありません。